

法医学分野で法医解剖を行われた方の御遺族へ

「法医剖検例における腎機能障害マーカーとしてのシスタチンCの有用性に関する研究」への協力のお願い

法医学分野では、法医解剖が行われた方の試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2019年6月1日～2027年12月31日の間に当分野において法医解剖が行われた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028年12月31日

研究目的・利用方法：法医解剖例において、腎機能障害の評価に新しい腎機能障害マーカーであるシスタチンCが有用であるかを検討するために、血液・心膜液中のシスタチンCと、古典的な腎機能障害マーカーである尿素窒素およびクレアチニン並びに総蛋白・ケトン体との関係、腎臓の病理組織検査との比較を行います。本研究結果は、法医鑑定において、生前または死戦期の腎機能障害の程度について論ずるにあたり有用な科学的根拠となる可能性が期待されます。

研究に用いる試料・情報の項目：

①以下のデータを剖検記録より取得します。これらはいずれも通常の法医解剖時に得られるデータです。

一般情報：年齢、性別、死因、受傷（発症）後経過時間、死後経過時間、腎臓の重量・肉眼所見

死後血液生化学検査：血液中・心膜液中の尿素窒素、クレアチニン、総蛋白、ケトン体

②剖検時に採取した血液および心膜液につき、下記の検査を行います。この血液および心膜液は、解剖後の血液生化学検査に用いた後の残余検体です。

測定項目：シスタチンC

上記血液生化学検査は、SRL 株式会社で行います。

③剖検時に採取した腎臓の病理組織を観察します。この試料は、解剖後の病理検査のために採取・作成したもので評価します。

評価項目：糸球体硬化の割合、間質の線維化および炎症細胞浸潤の程度、尿細管傷害の有無

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに御遺族に行っていただくことはありませんし、費用もかかりませ

ん。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当大学における対応および医学部附属病院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 法医学分野 教授 道上 知美

連絡先

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

岐阜大学大学院医学系研究科 法医学分野 道上 知美

Tel : 058-230-6418

Tel : 058-230-6000 (夜間・休日)

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel : 058-230-6059

E-mail : rinri@gifu-u.ac.jp